

平成30年度第1回三重県ダイバーシティ社会推進本部会議概要

- 1 開催日時：平成30年8月6日（月）9:10～9:15
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 三重県における多様な性的指向・性自認に関する職員対応指針について

●事務局（資料に基づき説明）

- ・ 県民の皆さんに対応する職員自身が理解し、行動していくことや、当事者である職員にとっても働きやすい職場としていくことが重要であるため、多様な性的指向・性自認に関する職員の対応指針を作っていきたい。
- ・ 指針には、基礎知識、県民への対応、職場での対応にかかる基本的な考え方などを示すことを考えている。
- ・ 「性的指向・性自認に関する職員対応検討部会」をダイバーシティ社会推進本部幹事会のもとに設置し、庁内検討を行いたい。部会の構成は、全部局とし、各部の人権・危機管理監又は人権担当者等とする。
- ・ 今後、先進自治体ベンチマーク、職員研修、当事者等へのヒアリングなどを行い、それらの知見もふまえ、検討部会において指針のたたき台を作成、3月の完成をめざす。
- ・ 検討状況に応じて、推進本部会議で協議、決定、県議会への報告を予定している。

（質疑等なし）

☆知事

- ・ 人はそれぞれに人権があって平等であり、生まれ持った環境等で人権に差がないのは当然のことである。性別は選んで生まれて来ることはできないが、人権は等しく尊重されるべきであって、社会との関わりの中で悩んだり、言い出したくても言い出せなかったり、傷ついたりしている県民の方がいらっしゃるということはもとより、職員の中にも同様に悩んだりしている人がいるかもしれないということを、全職員がしっかり認識する必要がある。
- ・ 行動を変えるためには、まず知ることが必要だと思うので、今回の取組をしっかりと全庁を挙げてやってほしい。また、当事者である職員が日々安心して県民の皆さんのために仕事に取り組めるようにしていくことも大事なので、そういう観点からも、しっかりした検討と全部局での協力をお願いしたい。